

第 19 区

定数 24 名

候補者 24 名

候補者氏名（受付順）

1. 氏名 2. 生年月日 3. 主たる勤務地 4. 経歴 5. 抱負 6. 現職/新任/再任

1. 奥山 宏臣 2. 1960/3/27
3. 大阪大学小児成育外科
4. 1984 年大阪大学卒業
1992 年大阪大学博士課程修了
1995 年ミシガン大学研究員
1999 年大阪府立母子医療センター医長・副部長
2008 年兵庫医科大学准教授・教授
2014 年大阪大学小児成育外科教授
5. 外科専門医プログラムに新たに入る人が減少傾向にあります。外科医が誇りを持って、より働きやすい環境整備が喫緊の課題です。日本小児外科学会と連携しながら、外科学の発展に貢献したいと思います。
6. 現職

1. 関本 貢嗣 2. 1956/8/7
3. 関西医科大学外科学講座
4. S56 年大阪大学医学部卒 H7 年同第二外科助手 H11 年同病態制御外科講師 H16 年同病態制御外科助教授 H24 年大阪医療センター外科科長 H28 年同副院長 H31 年～関西医科大学外科学講座主任教授
5. 消化器外科、腫瘍外科を専門とし、教育、診療、研究に力を入れて取り組んできました。これまでの経験を生かし、外科学の発展に尽くしたいと存じます。
6. 現職

1. 西口 幸雄 2. 1956/7/15
3.
4. 1982 年 大阪市立大学医学部卒業
2009 年 大阪市立総合医療センター消化器センター長
2019 年 大阪市立十三市民病院病院長
2022 年 大阪市民病院機構理事長兼大阪市立総合医療センター病院長
5. 外科医が減少していることに対して、働きやすい環境作りを充実させることにより、若手外科医の育成を図り、日本外科学会の発展のために努力する所存です。
6. 新任

1. 花岡 伸治 2. 1960/8/22
3. 大阪医科薬科大学病院
4. 1988 年 3 月金沢大学医学部卒業。同年 6 月京都大学胸部疾患研究所胸部外科入局。2003 年 3 月京都大学大学院修了。2007 年 4 月より大阪医科大学外科学講座胸部外科学教室に所属
5. 呼吸器外科の道を志し三十数年が経過した。これまで、習得できた技術を若手医師たちに伝えていくという使命、共に学ぶことで一歩でも進歩できるように日々アンテナを高く掲げ、新しい知見を貪欲に取り入れていきたい
6. 現職

1. 李 相雄 2. 1968/12/26
3. 大阪医科薬科大学
4. 平成 7 年 3 月大阪医科大学医学部卒業
平成 7 年 5 月同附属病院臨床研修
平成 29 年 8 月同学一般・消化器外科講師
令和 3 年 6 月-大阪医科薬科大学医学教育センター副センター長
令和 4 年 4 月-同学一般・消化器外科 教授
5. 外科医を取り巻く環境は急激に変化しています。2024 年度より導入される働き方改革、深刻な外科医不足、新専門医制度への対応など、待ち受ける難局に対し柔軟かつタイムリーに対応できるよう尽力してまいります。
6. 新任

1. 村川 知弘 2. 1966/12/21
3. 関西医科大学附属病院 呼吸器外科
4. H4 東京大学医学部医学科卒業
H4-15 東京大学第二外科・胸部外科および関連施設
H15-17 米国コロラド大学胸部外科
H17-27 東京大学呼吸器外科
H27～関西医科大学呼吸器外科
5. おもに大阪府北河内医療圏での呼吸器外科診療を担当しています。本学会の発展に貢献したく、今回代議員に立候補いたしました。
6. 現職

1. 西村 好晴 2. 1961/6/6
3. 和歌山県立医科大学 外科学第一講座
4. 1987年和歌山県立医科大学 卒業
2004年和歌山県立医科大学 外科学第一講座 講師
2016年同 教授
5. 次世代を担う若手外科医の育成に努めます。
6. 現職

1. 島津 研三 2. 1967/9/23
3. 大阪大学大学院医学系研究科乳腺内分泌外科学
4. 平成6年3月 大阪大学医学部医学科卒業
平成18年10月 大阪大学大学院 乳腺・内分泌外科学 特任助教
平成19年11月 同 助教
平成24年7月 同 講師
令和2年5月 同 教授
5. 外科診療は大きな変革期を迎えております。働き方改革、男女共同参画、外科医の減少など解決すべき問題が多くありますが、この変革期を新たなチャンスと捉え、高度な治療を患者様に提供するために努力して参ります。
6. 現職

1. 津谷 康大 2. 1976/1/19
3. 近畿大学医学部
4. 2000年 広島大学医学部卒
2009年 広島大学大学院卒 博士(医学)
2012年-2015年 米国 MSKCC 留学
2022年 近畿大学医学部外科学教室呼吸器外科部門主任教授
5. 腫瘍外科医、呼吸器外科外科医として研鑽を積んできました。外科医の待遇改善、働き方改革、若手リクルートに取り組み、社会貢献のできる外科医の育成を通じて日本外科学会の発展に貢献したいと考えます。
6. 新任

1. 勝間田敬弘 2. 1964/1/7
3. 大阪医科薬科大学 医学部 外科学講座 胸部外科学教室
4. 1988年金沢大学卒
1988年東京女子医大 心研外科 入局
1996年英国 Oxford Heart Centre 留学
2000年京都桂病院心臓血管センター外科部長
2004年大阪医科大学 胸部外科学教室教授
5. 本会が次世代の外科医を育成する中心的学会として社会に貢献すべく、考え、尽力させていただく所存です。これからの外科医の研鑽方法、処遇と働き方改革への対応や男女参画の機会の適正化について提言いたします。
6. 現職

1. 新谷 康 2. 1969/12/9
3. 大阪大学呼吸器外科
4. 1995年大阪大学医学部卒業、2004年大阪大学大学院博士課程修了、2004年米国ネブラスカ医科大学研究留学、2010年大阪大学呼吸器外科助教、2014年同講師、2015年同准教授、2019年同教授。
5. 現在、日本外科学会で教育委員会や英文誌編集委員会の委員として活動しており、今後も、若手外科医の育成に努め、外科学および日本外科学会の発展のため貢献していきたいと考えております。
6. 現職

1. 安田 卓司 2. 1960/8/10
3. 近畿大学医学部外科学教室上部消化管部門
4. 1986年 大阪大学医学部卒→同年大阪大学第二外科
1994年 大阪府立成人病センター外科
2000年 大阪大学病態制御外科助手→学内講師
2006年 近畿大学外科上部消化管部門准教授
2013年 同主任教授
5. 上部消化管腫瘍、特に食道癌の外科治療を中心とした集学的治療に取り組んでいます。日本の高度な外科治療の均てん化と外科の労働環境の改善に取り組み、若手外科医の育成とリクルートに尽力したいと思います。
6. 現職

1. 亀井 敬子 2. 1975/2/19
3. 近畿大学病院
4. 2003年金沢医科大学卒業 医員, 2005年近畿大学病院外科助教, 2013年同 医学部講師, 2022年 同講師 現在に至る
5. 長時間手術や高難度手術により, 外科の中でも人手不足にある肝胆膵外科に所属しております. 少しでも女性外科医, 若手外科医のロールモデルとなるよう, 尽力させていただきます. どうぞよろしくお願いいたします.
6. 新任

1. 江口 英利 2. 1966/12/18
3. 大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学
4. H4年阪大卒, 同第二外科入局. H12年大学院修了, 米国Brown大学/Rhode Island 病院留学. H15年大阪府立成人病センター消化器外科, H21年大阪大学消化器外科, 令和元年より同教授.
5. 現在, 日本外科学会の理事, 専門医制度委員会委員長を拝命しています. 若手外科医の育成や外科専門医既取得者の生涯教育・スキルアップに関わる諸問題に, 引き続き尽力してまいります.
6. 現職

1. 土岐祐一郎 2. 1961/2/2
3. 大阪大学医学部附属病院 消化器外科
4. 1985年大阪大学医学部卒業 大阪大学第二外科入局
1993年米国コロンビア大学 研究員
2008年大阪大学消化器外科 教授
2020年大阪大学医学部附属病院 病院長 (~2022)
5. 大阪大学消化器外科教授になって15年経過しました. コロナの間は外科医のリクルートは不調でしたが, 本年度から巻き返しをはかりたいと思います. 外科学会会員一丸となって頑張りましょう.
6. 現職

1. 小山 忠明 2. 1965/10/20
3. 関西医科大学
4. 1991年愛媛大学卒業 1993年土谷総合病院心臓血管外科 2003年3月大学院卒業課程博士号取得 2013年4月神戸中央市民病院心臓血管外科部長 2023年4月関西医科大学心臓血管外科主任教授
5. 自分の専門である心臓血管外科領域を通じて今後の日本外科学会の発展と若手医師の育成に貢献していきたい
6. 新任

1. 松田 健司 2. 1970/8/1
- 3.
4. 平成8年和歌山県立医科大学卒業後, 平成9年同大学院入学. 平成13年国立南和歌山病院外科を経て平成14年和歌山県立医科大学臨床研究医, 平成18年より同助手, 平成25年より同講師, 令和4年より同准教授.
5. 日本の外科学の発展, 特に国際的な分野での大腸肛門外科分野の存在感の向上のために努力したいと思います. そのためには, 新しい外科医のリクルートに努め, 研究的思考を備えた外科医の育成に努めたいと考えます.
6. 新任

1. 平松 昌子 2. 1958/1/4
3. 高槻赤十字病院
4. 1984年大阪医科大学一般・消化器外科. 1994年Washington大学 (St. Louis). 1998年帰局後, 専攻医, 助手, 講師, 准教授を経て, 2013年高槻赤十字病院副院長. 2023年同医監.
5. 若手医師に外科の魅力を正しく伝え, 責任ある医療を全うできる外科医の育成に努めます. 日本外科学会理事の経験を活かし, 地域や性別等を問わず, 外科医がやりがいと夢を持ち働き続けられる環境作りに尽力致します.
6. 新任

1. 川井 学 2. 1970/10/20
3. 和歌山県立医科大学
4. 1995年鳥取大学卒業
1995年和歌山県立医科大学第2外科入局
2022年8月～和歌山県立医科大学外科学第2外科教授
学会
日本外科学会 代議員・指導医・専門医
日本消化器外科学会 評議員・指導医・専門医
5. 若手外科医不足対策に真摯に取り組み、腹部外科領域の低侵襲手術・高難度手術の双方の治療成績の向上の問題に取り組むこと
によって、日本外科学会全体の発展に貢献したいと思い、代議員
に立候補させていただきます。
6. 現職

1. 川村純一郎 2. 1969/8/28
3. 近畿大学病院
4. 1995年 京都大学医学部卒業
2009年 米国コーネル大学留学
2011年 滋賀県立成人病センター
2014年 近畿大学医学部外科学内視鏡外科部門講師
2019年 近畿大学医学部外科学下部消化管部門主任教授
5. 日本外科学会は外科医療全般の向上と学術文化の発展により
国民の健康と福祉に寄与するという大きな役割を担っています。
外科学の進歩と発展のため、学術的活動の機会を継続的に
行えるよう尽力していく所存です。
6. 現職

1. 向出 裕美 2. 1972/5/5
3. 関西医科大学総合医療センター 外科
4. 1999～関西医大附属病院
2000～国立大阪病院
2004～関西医大大学院医学研究科
2007～洛西病院
2007 関西医大大学院医学研究科博士
2009～関西医大附属病院
2023～関西医大総合医療センター
5. 臨床経験を活かし、外科学会の発展に微力ながら貢献、
尽力していきたいと考えております。また女性に限らず外科医の働き方、
環境、QOLの改善の一助になればと考えます。
6. 新任

1. 矢田 由美 2. 1983/5/24
3. 和歌山県立医科大学 外科学第一講座
4. 09年4月-11年3月和医大初期研修医、11年4月-12年6月同
学内助教、12年7月-14年3月和歌山労災病院、14年4月-15年3
月橋本市民病院、15年4月-16年4月医大内助教、20年4月-助
教
5. この度、女性代議員として御推薦頂くという大変光栄な機会を
いただきました。まだまだ立候補には経験も年次も足りていない
ことは十分自覚しておりますが、女性外科医としての意見が役立
つよう精進してまいります。
6. 新任

1. 澤 芳樹 2. 1955/7/3
3. 大阪警察病院/大阪大学大学院
4. 昭和55年大阪大学医学部卒、同第一外科入局、平成18年～令
和3年大阪大学心臓血管外科教授。現在は、大阪大学大学院特任
教授、大阪警察病院院長、日本外科学会第116回学術集會会頭、
副理事長、理事を務めた。
5. 外科系学会の基盤学会として、外科治療の推進による社会への
貢献、医療安全管理体制の確立、外科医の待遇改善、優秀な若手
外科医の育成等、これまでの経験を基に、学会の諸問題解決と発
展に努力し貢献する所存です。
6. 現職

1. 宮川 繁 2. 1968/3/20
3. 大阪大学大学院医学系研究科外科学講座心臓血管外科
4. 平成6年 大阪大学医学部卒
平成18年 ドイツ連邦共和国ケルクホッフクリニク心臓血管
外科客員医師
平成24年 大阪大学心臓血管外科講師
令和3年 大阪大学心臓血管外科学教授
5. 臨床、研究、教育全ての領域で、日本外科学会の発展のために
尽力いたします。特に、若手外科医の減少は未曾有の状況であり、
外科の魅力さをさらに向上させ、若手の育成に粉砕努力いたし
ます。
6. 現職